
「ごめんね？」 諦めて？

しこう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「ごめんね？」 諦めて？

【ノート】

N1046T

【作者名】

しじじ

【あらすじ】

泣かないでなんて、気軽に言わないで欲しい。告白して、断られて 言葉の勘違いに関する話。

* 以前所持していたサイト (&blog) からの転載です。

泣かないでなんて、気軽に言わないで欲しい。

「う…っく」

「泣かないで。泣くと、僕も悲しい」

アンタが私を振ったからこー言う事になってんじゃない！
冷静な部分の脳ミソが、彼に反抗する。

「ふっ、……う」

「ね？ ……ねえ？」

なんつー気弱なヤツだ。泣いている女が居たら、抱き締めないか。
普通…。

おろおろされると、ああ、本当に私はダメなんだ、とか思っちゃう
から。

可哀相だと思うのなら、さっさと立ち去って。

「っく　うっ…」

もうダメだよ。嗚咽が出てしまう。だって、悲しいもん。苦しいも
ん。

お願いだから、振った女にまで情けをかけないで。
優しい事、知ってるけど。

見捨てられない事、知ってるけど。

「泣きやもう？　ね？」

そんな言葉で泣き止めたら。こんな恋心捨てられたら。
どんだけ良いと思ってるんですか。アンタ。

元々、止めときなよとか言われまくって。でも、諦め切れなくて。
だから。だから！こんな無謀な勝算の無い告白なんかしたのに。

…自分の、恋心に止めを打つ為に。

「うっ…ふぐっ！？」

え、何。

貴方はどうか致したんですか。
告白して泣かれたら、抱き締めるんですか。
脳内は大混乱だ。分からない。

なに。

何。

ナニ。

何で、私は抱き締められているの！

「あーあ。 だから、ごめんね？ って言ったのに…」
頭の上から、声が落ちてくる。

さっきまで、止まる事を知らない涙は、思いっきり止まってしまっ
た。

「泣き顔まで可愛いなんて、詐欺だよ？」

くつりと、喉の奥で笑った事が分かる。 触れている、体から。

「僕はねー、一度手に入ったモノは、手放せないんだ」

意味が、分からない。

「でもね、人間はそうも言ってもらえないデシヨ？ だから、諦めよ
うと思ってたんだ」

耳から入ってくる言葉が、そのまま出て行っている気分。

「なのに。 折角、諦めようと思ってたのに」

うっ…あ?! ちょ、ちょちょちょーっ!?

「自分から囚われに来たんだから、しょうがないよねえ…?」

ちから、が。

ふわりとした、つかみ所の無い力加減から、……まるで、放さない
とでも言う様な強い力で。

抱き締められている、私。

「もう、手放せない。　ねえ、良いの？」

意味が分からなくて、涙が止まった割には止まらない嗚咽を何とか堪えて、私は聞く。

「なっ　に、が…？」

そう聞けば、彼はにっこりと笑い。

「なら、もう僕のモノ。　拒否権は…無い」

最期の言葉の声の低さに、背中がぞわりとした。

「私は…誰のものでも、ないっ」
思わず、言い返す。

「ううん、もう僕のモノ」

即答で、彼が返す。

「だって…、だって！もう断られたっ！」

ああ、パニックってる。自分でも分かるほどに、パニックっている。

「ああ…なら、僕がもう一度君に申し込むよ。　付き合って下さい？」

なんだー！そのいい加減さはーっ！っ！？

「いつ、嫌っ！」

「ダメだよ。　君に拒否権は…無いって、言ったでしょっ？」

「何で！　だって、振られたんだから振っても良いでしょうっ！？」

「ふっ…は…っ！」

なんで、此処で笑い出すんだ？

「良いわけ無い。　…もう、君は僕のモノだから」

見下ろす瞳に、奪われる。

(後書き)

ほのぼのからぶらぶらかキーワードに悩んだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1046t/>

「ごめんね？」 諦めて？

2011年5月11日15時11分発行